中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる・

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成28年2月5日発行

2月の主な行事

1月20日(水)~2月26日(金)

平成27年度社会教育主事講習(まなびタウンとうはく)

2月 9日(水)

学校支援ボランティア研修会(倉吉体育文化会館)

2月16日(火)

「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテータ研修会(県立福祉人材研修センター)

「平成27年度社会教育主事講習」開講中!

1月20日(水)から2月26日(金)までの27日間、琴浦町のまなびタウンとうはくで社会教育主事講習が行われています。今年度は12名が受講しています。受講後は、学びを生かして職場や地域で活躍していただきたいと思います。そもそも社会教育主事にはどんな力が求められるのでしょうか。少し紹介したいと思います。

Q 社会教育主事とは

社会教育法に基づき教育委員会の事務局 に置かれる行政職です。また、教育公務員 特例法に基づく「専門的教育職員」でもあり ます。

学習の成果を生かして住民の活躍の場を設けたり、各種団体や組織のネットワーク化を図ったり、生涯学習を支援したりする重要な役割があります。

受講生の感想

講義内容一例

- 生涯学習振興施策の動向
- 体験活動の意義と実際
- ・事業計画立案、評価
- 社会教育施設見学など

これまで、社会教育の目的を知らないまま事業をしてきたところがありました。盛り上がりだけでなく目的に沿っことも大切だと分かりました。

社会教育主事には、公共的な課題解決のために、 地域住民との間に入って調整するコーティネータ ーの役割があることを学びました。

Q社会教育主事に期待される力とは

【東日本大震災の復興支援より】

〇まとめる力

避難所生活のルールを行政が押しつけるのではなく、住民に働きかけて自発的な活動を支援しました。

〇つくる力

避難生活の不安を和らげるために、朝のラジオ体操やお便りなどを提案し、希望と活力を見いだすきっかけを作りました。

〇生かすカ

地域人材を生かし、コーヒーショップのマスターに喫茶 コーナーを作ってもらったり、特技を持った住民に、書道 教室や草花ツアーを開催してもらったりしました。

> まなびタウンでのインターネット学 習の様子。1 日に90分×4コマの 講義があります。

ファシリテーションの方法や グループワークの手法を学 び、多くの気づきがありまし た。事業をするときに実際に やってみようと思います。





1/15 全県社会教育担当者会より~啓発方法の工夫を紹介~

今年度の研修は中部開催ということもあり、中部地区3町の担当者に実践発表をしていただきました。その後のグループ協議では、来年度事業をイメージした事業立案の研修をしました。各グループで共通して出た課題として「啓発」の方法がありました。実践発表の中で紹介があった北栄町の「家庭教育12か条キャンペーン」での啓発の取組が大変参考になりましたので紹介します。北栄町のHPに掲載されていますのでぜひ御覧ください。

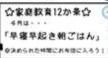


「家庭教育 12 か条」は基本的生活習慣の定着を目的として家庭、地域などで取り組んでほしいことを月ごとの指針にしたもの。家庭や職場での掲示用にもダウンロードできる。

①おたよりのすみっこで PR

OOだより AR号

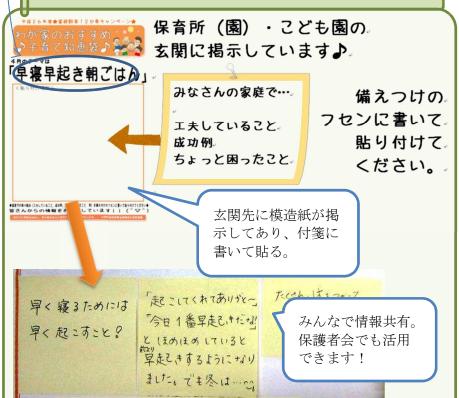
学級通信などのお便りの 空きスペースに今月のテ ーマを載せてもらう。





〈このバナーは HP に掲載してある〉

②我が家のおすすめ子育て知恵袋~アィデア募集~



中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

平成 26 年度の知恵袋を HP で紹介!

電話 0858-23-3253 FAX 0858-23-5203

E-mail <u>kishimoto-r@pref.tottori.jp</u>



ちゅうぶくん ~インフルエンザに負けるな~

